

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	青柳 憲昌

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
『富田林市富田林伝統的建造物群保存地区保存対策及び見直し調査 報告書』	分担執筆	2018年3月	富田林市教育委員会生涯学習部文化財課発行	高田昇・大場修・青柳憲昌・東野良平・COM 計画研究所	16-17, 42-44, 67-82

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
「法隆寺壁画収蔵庫の設計経緯と建築的特徴」	単著	2018年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	青柳憲昌	545-548
「旧北国街道今庄宿の歴史的町並みに関する研究 —その1 町家の建築的特徴と町並みの構成—」	共著	2018年9月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	福井啓太・大場修・青柳憲昌・坪田叡伴・多米淑人	582-583
「旧北国街道今庄宿の歴史的町並みに関する研究 —その2 近代に建設された町家の建築的特徴—」	共著	2018年9月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	坪田叡伴・青柳憲昌・大場修・福井啓太・多米淑人	584-585
「滋賀県草津市常盤地区における神社本殿（一間社流造）の意匠的特徴」	共著	2018年9月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	小西佐枝・青柳憲昌	635-636
「日本統治期の台湾における製糖工場の建築的特徴 —台湾における製糖工場の保存と活用 その1—」	共著	2018年9月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	趙逸塵・坪田叡伴・青柳憲昌・是永美樹・斎藤英俊・平賀あまな・西川博美	737-738
「旧橋仔頭製糖工場（台湾糖業博物館）の活用 —台湾における製糖工場の保存と活用 その2—」	共著	2018年9月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	西川博美・平賀あまな・斎藤英俊・青柳憲昌・是永美樹・坪田叡伴・趙逸塵	739-740
「旧車路壠製糖工場（十鼓仁徳文創園区）の活用 台湾における製糖工場の保存と活用 その3」	共著	2018年9月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	平賀あまな・西川博美・斎藤英俊・青柳憲昌・是永美樹・坪田叡伴・趙逸塵	741-742

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 活動報告（2017年度）」	単独	2018年3月	第3回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ(第3回) 全体会合/法隆寺金堂壁画保存活用委員会(第4回)	青柳憲昌
「『復元学』の射程——関野克の登呂遺跡復元住居と大岡實のRC造復元寺院建築を通して」	単独	2018年3月	2018年3月24日、第三回「復元学」研究会、於・奈良文化財研究所	青柳憲昌

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「富田林寺内町の町並みと防災文化」	単著	2018年4月	立命館大学歴史都市防災研究所見学会	青柳憲昌
「草津市の歴史的建築」	単著	2018年7月	アーバンデザインスクール前期第2回	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
朝日新聞「法隆寺の収蔵庫、まるで博物館 金堂壁画を調査」朝日新聞（全国版）2018年3月20日32面		朝日新聞（全国版）2018年3月20日32面	2018年3月～ 2018年3月20日
「特集・戦後名住宅の新しい見方」青柳憲昌・門脇耕三・倉方俊輔『ディテール』217号、2018年7月号、彰国社、pp.37-116	共同		2018年6月～ 2018年6月
日経新聞「時の回廊：新八日市駅舎（滋賀県東近江市）和洋折衷、愛され100年」日経新聞夕刊（関西版）2018年8月29日11面	単独	日経新聞	2018年8月29日～ 2018年8月29日
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第1回 清家清 ——「線」を減らして空間を抽象化する」青柳憲昌『ディテール』218号、2018年10月号、彰国社、pp.105-112	単独	『ディテール』218号	2018年9月～ 2018年9月
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第2回 吉田五十八 ——戦後の『新興数寄屋』」青柳憲昌『ディテール』219号、2019年1月号、彰国社、pp.109-116	単独		2018年12月～ 2018年12月

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日		
所属	職名	氏名	
理工学部	教授	泉 知論	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor	共著	2018年12月	Journal of Image and Graphics, vol.6, no.2, pp. 167-173, DOI: 10.18178/joig.6.2. 167-173.	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, and Hironori Yamauchi	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
監視カメラ向けアライグマ自動検出の試行評価	共著	2018年1月	平成29年度 計測自動制御学会 関西支部・システム制御情報学会 若手研究発表会	初田慎弥, 大野真史, 泉知論, 孟林
文化財獣害対策のための学習用データベースの構築と認識精度向上	共著	2018年3月	画像電子学会 第284回研究会	初田慎弥, 孟林, 泉知論
甲骨文字解析支援のための文字領域抽出手法	共著	2018年3月	画像電子学会 第284回研究会	渡邊清威, 孟林, 泉知論
Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor	共著	2018年5月	the 10th International Conference on Digital Image Processing (ICDIP2018)	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019年1月	the 4th International Conference on Multimedia and Image Processing (ICMIP2019)	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi
野生動物自動認識のためのデータベースの構築と深層学習の試行	共著	2019年3月	画像電子学会 第288回研究会	宮下洸大, 初田慎弥, 孟林, 泉知論
土地利用別面積推定のための地図の自動領域分類手法	共著	2019年3月	画像電子学会 第288回研究会	高須柁樹, 渡邊清威, 孟林, 泉知論
甲骨拓本からの自動文字抽出手法と支援環境	共著	2019年3月	画像電子学会 第288回研究会	渡邊清威, 孟林, 泉知論
Example-based Face-image Restrstration for Block-noise Reduction	共著	2019年3月	the 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing (ICFIP2018)	Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月 (西暦可)
the 10th International Conference on Digital Image Processing (ICDIP2018)	Best paper award	Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor	2018年5月13日

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	伊津野 和行

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
災害時避難におけるピックアップ行動の影響に関する一考察	共同	2018年12月	第15回日本地震工学シンポジウム	藤岡昌俊・伊津野和行

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	大窪 健之

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Integrating Disaster Science and Management -Global Case Studies in Mitigation and Recovery, Chapter 14 "Civic Fire Control System for Historic District in Kiyomizu, Kyoto—Development Project and Its Techniques for "Environmental Water Supply System (EWSS) for Disaster Prevention" to Protect Traditional Wooden Cultural Heritage Zones from Postearthquake Fire"	共著	2018年	Elsevier Inc.	Pijush Samui, Dookie Ki, Chandan Ghosh et.al.	263-276

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
Traditional Knowledge of Disaster-Resilient Designs in World Cultural Heritage, Japan -For consisting Cultural Concervation and Disaster Mitigation -	単著	2018年6月	Abitare la Terra n.46-47/2018 -Dwelling on Earth (international A class magazine) (No.46+47 巻)	Takeyuki Okubo	32-33
重要文化財・道後温泉本館の改修へ向けた公衆浴場の避難計画に関する研究	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集 (12号)	大窪健之, 鷺尾龍之介, 金度源, 林倫子	113-120
地震火災時の文化財建造物に対する防火対策検討プロセスの開発 - 東福寺及び周辺地区を事例として -	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集 (12号)	荒川昭治, 加村大輔, 中畑摩耶, 大窪健之, 金度源	137-144
避難所設備の評価に基づく寺院・公益施設の活用可能性に関する研究 ～福井県若狭町熊川宿重伝建地区を対象として～	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集 (12号)	福永靖史, 大窪健之, 金度源	177-184
重伝建地区における防災訓練の実施とその改善方針の提案 ～島根県津和野重伝建地区を対象として～	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集 (12号)	中林秀光, 大窪健之, 金度源	241-246
Evaluation of the fire spreading risk triggered by earthquake and proposal for risk mitigation measures using existing water environment for wooden buildings in historic area of Kyoto, Japan	共著	2018年11月	ICBR 2018: 8TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON B U I L D I N G RESILIENCE	Takeyuki Okubo, Tsubasa Naito, Dowon Kim and Michiko Hayashi	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
歴史的街区の伝統的な構成要素による延焼抑止効果に関する研究～高山市三町・下二之町大新町重伝建地区の土蔵群に着目して～	共著	2018年7月	平成30年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第58号・計画系	砂田陸, 大窪健之, 金度源

寺院の防災拠点活用による帰宅困難者対策～京都駅周辺地域を対象とした有効性評価～	共著	2018年7月	平成30年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第58号・計画系	清水弘樹、金度源、大窪健之
地域観光サービスの活用による外国人観光客の避難誘導に関する研究～清水寺周辺地域の人力車と貸衣装店舗を対象として～	共著	2018年7月	平成30年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第58号・計画系	高揚、大窪健之、金度源

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
講演、現地研修：2017年度「トルコ・博物館及び文化財の自然災害からの保護に係る能力開発」コース	共同	JICA 関西	2018年1月24日～
講演および演習指導（ミャンマー）：「日本の文化遺産防災への取り組み、および災害図上訓練」	共同	First Training Workshop on Disaster Risk Management for Cultural Heritage in Southeast Asia: Post-Disaster Recovery for the Living Archaeological Urban Complex, Bagan MYANMAR	2018年3月14日～2018年3月20日
講演および演習指導（ブータン）：「文化遺産防災の理念、東日本大震災後の調査、および災害図上訓練」	共同	“Resilient Cultural Heritage (RCH) Knowledge Program Workshop on Improving Resilience of Cultural Heritage Sites”, World Bank Disaster Risk Management Hub, Tokyo “Japan-World Bank Program for Mainstreaming Disaster Risk Management in Developing Countries”	2018年4月8日～2018年4月11日
新聞記事（被取材）：「文化財 耐震化ジレンマ」	単独	朝日新聞朝刊（全国版）、pp.33	2018年4月23日～
講演および演習指導（メキシコ）：THE FUTURE OF PRESERVING THE PAST: UNDERSTANDING AND COMMUNICATING RISK TO CULTURAL HERITAGE THROUGH A DISASTER IMAGINATION GAME	共同	2018 Understanding Risk Forum、Mexico City	2018年5月17日～
講演：木造文化都市の防火技術開発への取り組み—木造密集市街地の延焼を抑制する散水システムの開発—	単独	立命館大学技術士会第9期総会、中央電気倶楽部（大阪）	2018年6月30日～
NHK スペシャル（被取材）：町人たちが闘った“大火の都”、『シリーズ大江戸』第3集	共同	NHK スペシャル	2018年7月1日～
新聞記事（被取材）：文化財耐震化足踏み	単独	日本経済新聞（夕刊13A）	2018年7月4日～
TV 被取材：文化財被害・修復への道のりは	単独	NHK ニュース630 京いちにち	2018年9月20日～
基調講演（Keynote Speech）Traditional Disaster-mitigation Designs in Japanese Cultural Heritages-For Consisting Cultural Conservation and Disaster Mitigation-	単独	International Symposium on Earthquake Response for Architectural Heritage、韓国国立文化財研究所（NRICH）	2018年11月20日～

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
地域防災情報システム	本学共同	筆頭発明者	2015-154886			

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	小川 圭一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
団体客を考慮した歴史都市における観光客の避難場所と避難経路に関する研究	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集 Vol.12	小川圭一, 安隆浩	129-136

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
団体客を考慮した歴史都市における観光客の避難場所と避難経路に関する研究	共著	2018年7月	第12回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 安隆浩

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
PLANNING PARADIGM SHIFT FOR URBAN SYSTEMS IN OUR NEAR FUTURE	単著	2018年	Proceedings, 12th World Congress of the RSAI; Spatial Systems: Social Integration, Regional Development and Sustainability	Hidehiko KANEGAE	1073-1078
A STUDY ON EFFECT ON QUALITY OF LIFE BY "INFORMATION MISMATCH" AMONG RESIDENTS AND PUBLIC SECTOR AFTER AN EARTHQUAKE IN HISTORIC CITIES - CASE STUDY IN L'AQUILA ITALY	共著	2018年	Proceedings, 12th World Congress of the RSAI; Spatial Systems: Social Integration, Regional Development and Sustainability	Hiroari Shimizu, Quirino Crosta2, Micaela Merucuri, Ryoya Tomeno, Satoru Ono, Hidehiko Kanegae, Paola Rizzi	1073-1078

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Shifting for Gamish Multilarity Society in our near future (Keynote in Plenary)	単著	2018年7月	49th International Simulation & Gaming Association Conference 2018	Hidehiko Kanegae
震災時における外国人観光客の避難行動モデリングに関する研究：清水寺界限を事例に	共著	2018年10月	日本地域学会 第55回年次大会 学術発表論文集	酒井 宏平・鐘ヶ江 秀彦
A Study on Spatial Distribution of Disaster-related Geospatial Information Availability on Local Government Websites in Indonesia	共著	2018年10月	日本地域学会 第55回年次大会 学術発表論文集	Puspita Sari KARTIKA, Hidehiko Kanegae
The Attractiveness of a Post-Mining City as a Tourist Destination from the Perspective of Visitors	共著	2018年10月	日本地域学会 第55回年次大会 学術発表論文集	Roni ARMIS, Hidehiko Kanegae

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
国際シミュレーション & ゲーミング学会	第49回国際シミュレーション & ゲーミング学会世界年次大会2018 タイ王国内閣総理大臣賞・最優秀論文賞	A Study on Participatory Evacuation Planning in Tourist Areas using Agent Simulation	2018年7月



## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	川崎 佑磨

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Fracture studies on synthetic fiber reinforced cellular concrete using acoustic emission technique	共著	2018年2月	Journal of Construction and Building Materials (169巻)	M. Abdur Rasheed, S. Suriya Prakash, Gangadharan Raju, Yuma Kawasaki	100-112
AE法によるゴム内部の剥離音検出精度の確認実験	共著	2018年7月	土木学会論文集A1(構造・地震工学)(74巻2号)	川崎佑磨、田中陽裕、寺村直人、植田健介、伊津野和行	241-250
RI法を援用したポーラスコンクリートの品質評価手法の現場施工への適用と有効測定範囲に関する研究	共著	2018年7月	コンクリート工学年次論文集(40巻1号)	王子哲、安部良介、岡本享久、川崎佑磨	1359-1364

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Influence on Detected Waveform from Cavity between Concrete and Steel Jacket by Elastic Wave Method	共著	2018年2月	The International Conference on Engineering and Applied Sciences	Yuma Kawasaki, Yuta Yasuda
Experimental Study of Detection of Peeling Sound inside Rubber using AE Method	共著	2018年3月	Asia-Pacific Conference on Engineering & Natural Sciences	Yuma Kawasaki, Akihiro Tanaka
底泥を細骨材として利用したモルタルの底泥置換率と強度特性の関係	共著	2018年5月	第72回セメント技術大会	下原怜也、中川隆一、川崎佑磨
コンクリート表面の色ムラに与える諸要因の一考察	共著	2018年5月	第72回セメント技術大会	下友希、川崎佑磨
Study on Effective Utilization of Porous Concrete mixed with Sediment from Lake Biwa	共著	2018年8月	4th World Congress on Materials Science & Engineering	Ryoya SHIMOHARA, Ryuichi NAKAGAWA, Yuji YAMADA and Yuma KAWASAKI
Mechanical Properties of Sediment Mortar from Lake BIWA	共著	2018年8月	4th World Congress on Materials Science & Engineering	Yuma KAWASAKI and Ryoya SHIMOHARA
Acoustic Characteristics of Enclosure using Cementitious Materials	共著	2018年8月	4th World Congress on Materials Science & Engineering	Masahiro TAKEUCHI, Yuji YAMADA and Yuma KAWASAKI
Study on Damage location analysis of Laminated Rubber Bearing using AE method under Cyclic Compression Loading	共著	2018年8月	4th World Congress on Materials Science & Engineering	Akihiro TANAKA, Yuji YAMADA and Yuma KAWASAKI
コンクリート表面に発生する白華の化学的抑制案の検討	共著	2018年8月	土木学会第73回年次学術講演会	下友希、川崎佑磨、河金甲
芳香成分を付与したセメントペーストに関する基礎的研究	共著	2018年8月	土木学会第73回年次学術講演会	榑平知弥、川崎佑磨、新大軌、兵頭正浩
衝撃弾性波法による鋼板とコンクリート間の接着剥離箇所の評価	共著	2018年8月	土木学会第73回年次学術講演会	康田雄太、川崎佑磨、伊津野和行
ヨシ粉末に含まれるリグニンを利用した新規コンクリート用混和材料の可能性	共著	2018年9月	平成30年度農業農村工学会大会講演会	柴原新弥、兵頭正浩、緒方英彦、新大軌、川崎佑磨

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	河角 直美

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
近代京都における土地利用と地形環境	単著	2019年3月	立命館大学環太平洋文明研究センター、環太平洋文明研究、3号		頁未定
デジタルアーカイブ写真を活用した景観理解支援システムの研究－京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として－	共著	2018年11月	日本建築学会、建築教育研究論文報告集－第18回建築教育シンポジウム－、No.18	高橋彰、山本峻平、佐藤弘隆、河角直美、井上学、矢野桂司、北本朝展	pp.35-41
近代京都における市街地の拡大と近郊農村の景観変化	単著	2018年3月	立命館大学環太平洋文明研究センター、環太平洋文明研究、2号		pp.79-86

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
デジタルアーカイブ写真を活用した景観理解支援システムの研究－京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として－	共著	2018年11月	日本建築学会、第18回建築教育シンポジウム、建築会館	高橋彰、山本峻平、佐藤弘隆、河角直美、井上学、矢野桂司、北本朝展
古写真データベースのまちあるきへの活用	共著	2018年3月	日本地理学会、2018年春季学術大会、東京学芸大学	山本峻平・高橋彰・佐藤弘隆・河角直美・矢野桂司・井上学・北本朝展

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	金 度源

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Technical Deep Dive on Resilient Cultural Heritage and Tourism -Knowledge Note-	共著	2018年5月	World Bank	Jay Newman, Barbara Minguez, Dowon Kim, Rohit Jigyasu, Takeyuki Okubo	全ページ

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
避難所設備の評価に基づく寺院・公益施設の活用可能性に関する研究：福井県若狭町熊川宿重伝建地区を対象として	共著	2018年7月	『歴史都市防災論文集』、Vol.12 立命館大学 歴史都市防災研究所	共著者：福永靖史、大窪健之、金度源	pp.177-184
重要文化財・道後温泉本館の改修へ向けた公衆浴場の避難計画に関する研究	共著	2018年7月	『歴史都市防災論文集』、Vol.12 立命館大学 歴史都市防災研究所	共著者：大窪健之、鷺尾龍之介、金度源、林倫子	pp.113-120
地震火災時の文化財建造物に対する防火対策検討プロセスの開発：東福寺及び周辺地区を事例として	共著	2018年7月	『歴史都市防災論文集』、Vol.12 立命館大学 歴史都市防災研究所	共著者：荒川昭治、加村大輔、中畑摩耶、大窪健之、金度源	pp.137-144
Evaluation of the fire spreading risk triggered by earthquake, and proposal for risk mitigation measures using existing water environment for wooden buildings in historic area of Kyoto, Japan	共著	2018年11月	ICBR2018, 3A/4F-2 electronical published	Takeyuki Okubo, Tsubasa Naito, Dowon Kim, Michiko Hayashi	
Capacity of the temples and shrines for using as evacuation places and shelters against the tsunami hazard: the case study for the coastal area of Muroto, Kochi-Prefecture in Japan	共著	2018年11月	ICBR2018, 3A/4F-1 electronical published	Dowon Kim, Hiroki Tanaka, Takeyuki Okubo, Michiko Hayashi	
歴史都市における地震時の延焼火災対策～京都市上京区周辺の防災水利評価（依頼原稿）	共著	2018年10月	日本火災学会、火災誌 356号	大窪健之、内藤翔、金度源	
韓国の国指定文化財建造物における火災対策（依頼原稿）	共著	2018年12月	日本火災学会、火災誌 357号	金度源、金セヒョン	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Capacity Building of Disaster Risk Management for Cultural Heritage Resilience	共著	2018年2月	『Disaster Risk Management Expert Workshop: Enhancing Disaster Risk Management and Resilience Building』、Ministry of the Interior and Safety, Korea	Dowon Kim, Rohit Jigyasu
「重伝建地区における防災訓練の実施とその改善方針の提案：島根県津和野重伝建地区を対象として」	共著	2018年7月	立命館大学 歴史都市防災研究所 歴史都市防災シンポジウム	共著者：中林秀光、大窪健之、金度源
「歴史都市における災害対策の研究項目に関する調査：『文化遺産防災ハンドブック』の改訂を目指して」	共著	2018年7月	立命館大学 歴史都市防災研究所 歴史都市防災シンポジウム	共著者：山口奨、金度源
「寺院の防災拠点活用による帰宅困難者対策～京都駅周辺地域を対象とした有効性評価～」	共著	2018年6月	日本建築学会近畿支部 日本建築学会近畿支部研究報告会	共著者：清水弘樹、金度源、大窪健之
「地域観光サービスの活用による外国人観光客の避難誘導に関する研究～清水寺周辺地域の人力車と貸衣装店舗を対象として～」	共著	2018年6月	日本建築学会近畿支部 日本建築学会近畿支部研究報告会	共著者：高揚、大窪健之、金度源
「歴史的街区の伝統的な構成要素による延焼抑止効果に関する研究～高山市三町・下二之町大新町重伝建地区の土蔵群に着目して～」	共著	2018年6月	日本建築学会近畿支部 日本建築学会近畿支部研究報告会	共著者：砂田 陸、大窪健之、金度源
Evaluation of the fire spreading risk triggered by earthquake, and proposal for risk mitigation measures using existing water environment for wooden buildings in historic area of Kyoto, Japan	共著	2018年11月	International Conference of Building Resilience 2018	Takeyuki Okubo, Tsubasa Naito, Dowon Kim, Michiko Hayashi
Capacity of the temples and shrines for using as evacuation places and shelters against the tsunami hazard: the case study for the coastal area of Muroto, Kochi-Prefecture in Japan	共著	2018年11月	International Conference of Building Resilience 2018	Dowon Kim, Hiroki Tanaka, Takeyuki Okubo, Michiko Hayashi

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
「Workshop on Improving Resilience of Cultural Heritage Sites in Bhutan」研修・講義指導	共同	Department of Archaeology, Bhutan	2018年4月
「Workshop on Resilient Cultural Heritage and Sustainable Tourism Development」研修・講義指導	共同	Department of Cultural Heritage, Uzbekistan	2018年7月

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	小林 泰三

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
拡張翼型アースアンカーの実用化にむけた基礎的研	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018 論文集	河野恒太、中橋明久、福島信夫、藤本将光、小林泰三、深川良一	pp.226-230

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
スクリーオーガによる地盤掘削時の施工情報を利用した土の力学特性把握に関する検討	共著	2018年10月	建設技術コンサルタンツ協会 近畿支部第51回研究発表会	栗原健伸、深川良一、小林泰三、宇治原雅之、若林幸子、金森洋文
UAVを活用した盛土の品質管理手法の提案	共著	2018年8月	土木学会第73回年次講演会	小林泰三、土佐信一、平 浩之、関家史郎、後藤政昭、池永太一
非接触式RI測定器による盛土の品質管理手法の検討	共著	2018年8月	土木学会第73回年次講演会	後藤政昭、池永太一、松浦与良信、小林泰三

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	里深 好文

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
土石流の規模と地形データの解像度が到達範囲に及ぼす影響	共著	2018年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (74巻4号)	中谷加奈・里深好文	I_1201-I_1206
既設不透過型砂防堰堤における流木対策の高度化に関する提案	共著	2018年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (74巻4号)	原田紹臣・高山翔揮・中谷加奈・里深好文・水山高久	I_1219-I_1224
一次元解析結果の平面二次元による表現手法の開発～解析結果のGISデータ化～	共著	2018年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (74巻4号)	梶山敦司・里明信・岸上直之・柳崎剛・里深好文	I_1447-I_1452
細粒土砂の液相化が土石流挙動に及ぼす影響とその要因に関する検討	共著	2018年3月	砂防学会誌(70巻6号)	中谷加奈・古谷智彦・長谷川祐治・小杉賢一朗・里深好文	3-11
大規模土砂生産後の土砂流出を対象とした河床変動計算における流れ幅の設定の影響	共著	2018年3月	砂防学会誌(70巻6号)	丹羽諭・内田太郎・泉山寛明・桜井亘・大野亮一・寺田秀樹・里深好文	34-45
雲仙岳の噴火後20年を経過した火砕流堆積斜面における土石流発生場の地形・地質特性	共著	2018年9月	砂防学会誌(71巻3号)	平川泰之・岡野和行・植野利康・堤大三・宮田秀介・里深好文	12-20
異なる地形データを用いた土石流の到達範囲の検討―扇状地の土地利用を考慮して―	共著	2018年10月	自然災害科学 (37巻特別号)	中谷加奈・林聖也・長谷川祐治・小杉賢一朗・里深好文	107-118
掃流区間におけるコンクリート・スリット堰堤の流木処理機能に関する提案	共著	2018年11月	土木学会論文集 B1(水工学) (74巻5号)	原田紹臣・中谷加奈・木村一郎・里深好文・水山高久	I_1075-I_1080
山地河川を対象としたワンスパン橋梁への流木閉塞に関する検討	共著	2018年11月	土木学会論文集 B1(水工学) (74巻5号)	中谷加奈・長谷川祐治・里深好文	I_1081-I_1086
平成30年7月豪雨による関西における災害	共著	2018年11月	砂防学会誌(71巻4号)	里深好文・小杉賢一朗・中谷加奈・正岡直也・岡野和行・笠原拓造・柳崎剛・山口雄一	38-48

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	鈴木 祥之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
(査読論文) 土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線評価	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 12	山田耕司、中治弘行、長瀬正、鈴木祥之	15-22
(査読論文) 垂れ壁と腰壁で分割された無開口土塗り壁の復元力特性	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 12	中治弘行、鈴木祥之、長瀬正	23-30
(査読論文) 壁土の改良方法に関する基礎研究	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 12	須田達、鈴木祥之	505-510
Seismic Performance of a Wooden Siding Board Fitted in a Frame of Penetrating Tie Beam Based on Dynamic and Static Loading Tests	共著	2018年8月	Proceedings of The 2018 World Conference on Timber Engineering (WCTE 2018)	白井悠吾、岩本いづみ、棚橋秀光、鈴木祥之	1-8
(査読論文) 木材載荷ブロックを用いた伝統木造 T 字型仕口の回転めり込み特性と定式化	共著	2019年2月	日本建築学会構造系論文集、Vol. 84, No.756	棚橋秀光、鈴木祥之	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
講演「伝統的構法木造建築物の新築と改修について」	単独	(公社) 愛知建築士会 技術研修委員会木塾委員会 会場: 愛知建築士会 会議室	2018年1月27日
パネルディスカッション「伝統工法の建築物の保存」	共同	第13回年次総会・鳥取県倉吉セミナー 会場: 鳥取短期大学シグナスホール大講義室	2018年1月
講義 開智中学校3学年総合学習「なぜ今日まで神社仏閣は残っているのか」	単独	歴史都市防災研究所 会議室	2018年11月6日

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	高橋 学

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
環境史からみた信長の時代Ⅱ —小氷期と豊年まつり—	単著	2018年3月	立命館人文学会 立命館文学	高橋 学	75-96
内陸直下型地震・火山噴火・プレート型 地震発生モデル—巨大地震・大地震・火 山噴火発生前後—	単著	2018年3月	環太平洋文明研究2	高橋 学	1-16

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「環太平洋における巨大地震と火山活動」		2018年	環太平洋文明環境センター	高橋 学
環境史・土地開発史・災害史からみた 災害リスクへの対応」		2018年	R-GIRO シンポジウム	高橋 学

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
「環境史からみた過去・現在・未来—あなたの知らない小牧—」	単独	尾張小牧歴史文化振興会、小牧市商 工会議所	
岡山における歴史時代の環境変化と土地開発—もの のけ姫はどこにいる—」	単独	岡山市市民講座、岡山県立図書館	
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年1月8日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年1月24日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年1月25日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年1月26日
記事掲載	単独	フライデー	2018年1月26日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年1月27日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年1月29日
記事掲載	単独	週刊女性	2018年1月30日
記事掲載	単独	iRONNA	2018年1月31日
記事掲載	単独	週刊ポスト	2018年2月9日
記事掲載	単独	フラッシュ	2018年2月13日
記事掲載	単独	週刊女性	2018年2月13日
記事掲載	単独	週刊女性	2018年3月3日
記事掲載	単独	プレイボーイ	2018年4月9日
記事掲載	単独	週刊女性	2018年4月17日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年4月19日



その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年4月24日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年5月8日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年5月24日
記事掲載	単独	iRONNA	2018年6月18日
記事掲載	単独	現代ビジネス	2018年6月19日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年6月20日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年6月20日
記事掲載	単独	週刊現代	2018年6月30日
記事掲載	単独	女性セブン	2018年7月5日
記事掲載	単独	週刊フライデー	2018年7月6日
記事掲載	単独	週刊ゲンダイ	2018年7月7日
記事掲載	単独	サンデー毎日	2018年7月8日
記事掲載	単独	プレイボーイ	2018年7月9日
記事掲載	単独	週刊女性	2018年7月10日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年7月12日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年7月14日
記事掲載	単独	夕刊フジ	2018年7月29日
記事掲載	単独	フライデー	2018年8月3日
記事掲載	単独	iRONNA	2018年8月3日
記事掲載	単独	週刊女性	2018年8月7日
記事掲載	単独	産経新聞	2018年8月8日
記事掲載	単独	選択	2018年9月1日
記事掲載	単独	週刊現代	2018年9月1日
記事掲載	単独	サイゾー	2018年9月1日
記事掲載	単独	週刊現代	2018年9月1日
記事掲載	単独	夕刊フジ	2018年9月7日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年9月8日
記事掲載	単独	夕刊フジ	2018年9月8日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年9月10日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年9月11日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年9月12日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年9月14日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年9月17日
記事掲載	単独	週刊新潮	2018年9月20日
記事掲載	単独	サンデー毎日	2018年9月23日
記事掲載	単独	週刊女性	2018年9月25日
記事掲載	単独	夕刊フジ	2018年9月26日
記事掲載	単独	フライデー	2018年9月28日
記事掲載	単独	週刊現代	2018年10月6日
記事掲載	単独	プレイボーイ	2018年10月8日

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年10月10日
記事掲載	単独	週刊現代	2018年10月27日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年11月6日
記事掲載	単独	週刊現代	2018年11月17日
記事掲載	単独	週刊ポスト	2018年12月14日
記事掲載	単独	iRONNA	2018年12月14日
記事掲載	単独	日刊ゲンダイ	2018年12月15日
記事掲載	単独	週刊フライデー	2019年1月4日
記事掲載	単独	週刊フラッシュ	2019年1月7日
テレビ出演	単独	ノンストップ	2018年1月31日
テレビ出演	単独	ビートたけしのTVタックル 白根山噴火	2018年2月11日

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	武田 史朗

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
M.H.Jacobsによる論文「生息環境の質」における論説の構造に関する研究－オランダにおける「空間の質」に関する議論の文脈の中で－	共著	2018年6月	平成30年度(2018年度)建築学会 近畿支部研究発表会	田中祐介・武田史朗
立命館大学平井嘉一郎記念図書館	共著	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北), 2018(デザイン発表会)	赤川貴世友・及川清昭・武田史朗・戸川勝之
高野山における女人堂跡と女人道に着目した巡礼路の再編による文化継承	共著	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北), 2018(デザイン発表会)	今川怜子・武田史朗
巨椋池・古川上流における治水機能を持ったオープンスペースの計画に関する研究	共著	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北), 2018(デザイン発表会)	安文婷・坂野有子・武田史朗

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
流域を、柔らかに住みこなす	共著	土木学会デザインコンペ「22世紀の国づくり－ありたい姿と未来へのタスク－」(東京大学武田先端知ビル)	2018年9月～ 2018年12月

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
土木学会	土木学会デザインコンペ「22世紀の国づくり－ありたい姿と未来へのタスク－」優秀賞	流域を、柔らかに住みこなす	2018年12月21日

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	准教授	豊田 祐輔

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Contribution of Gaming Simulation in Building Community-based Disaster Risk Management Applying Japanese Case to Flood Prone Communities in Thailand Upstream Area	共著	2018年3月	International Journal of Disaster Risk Reduction (27巻)	Tanwattana Puntita and Toyoda Yusuke	199-213
「社会人基礎力」の時点自己評価と振り返り自己評価の相違－タイ人大学生を対象とした短期間国際PBL研修を事例として－	単著	2018年3月	地域情報研究-立命館大学地域情報研究所紀要-(7号)	豊田祐輔	60-72
観光客の防災意識に影響する要因に関する研究-世界遺産姫路城を事例に-	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集(12巻)	酒井宏平・豊田祐輔・鐘ヶ江秀彦	121-128
Gaming Simulations as the Medium for Disaster Education in Schools and Community-based Disaster Risk Reduction	単著	2018年	Internet Journal of Society for Social Management Systems (11巻2号)	Toyoda Yusuke	80-90

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Application of Gaming Simulation to Disaster Education for Foreign Students in Japan	単著	2018年1月	Hong Kong International Conference on Education, Psychology and Society (HKICEPS)	Toyoda Yusuke
Contributing Factors to Intention to Participate in Disaster Sport Festivals and Events	単著	2018年3月	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018	Toyoda Yusuke
ゲーミング・シミュレーションを用いた仮装公聴会参加者の意見変化の計測－参加者のパターン分析－	共著	2018年5月	日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集2018年春号	清水泰有、石橋健一、留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦、和泉潤
A Study on Effect of “Social Loafing” toward Disaster Preparedness	共著	2018年5月	12th World Congress of the RSAI (Regional Science Association International)	Tomeno Ryoya, Toyoda Yusuke and Shimizu Hiroari
Enhancing Social Resilience of Students by Applying Gaming Simulation for Community-based Disaster Risk Management to Disaster Education	共著	2018年7月	“Proceedings of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association” pp. 80-87	Toyoda Yusuke* and Puntita Tanwattana
Gaming Simulation for Problem-based Learning (PBL) in Higher Education	共著	2018年7月	“Proceedings of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association” pp. 734-757	Toyoda Yusuke*, Kanegae Hidehiko*, Hirunsalee Siyanee, Punyakampol Chanya* and Otieno Francis*

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
A Study on Participatory Evacuation Planning in Tourist Areas Using Agent Simulation	共著	2018年7月	“Proceedings of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association” pp. 693-700	Sakai Kohei*, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
Gaming Simulation for Enhancing Resilience and Managing the Unexpected	共著	2018年7月	“49th Conference of the International Simulation and Gaming Association”	Toyoda Yusuke
Enhancing Students' Recognition of the Importance of Community-based Disaster Risk Management by Applying Gaming (Poster)	共著	2018年9月	Young Researchers' Round Table in the 10th International School: Awareness and Responsibility of Environmental Risk	Toyoda Yusuke and Tanwattana Puntita
参加と防災教育に着目した防災イベントの効果に関する研究	単著	2018年10月	『第37回自然災害学会学術講演会講演概要集』165-166頁	豊田祐輔
地域イベントの一環として実施される防災ゲームの効果に関する研究	単著	2018年10月	『日本地域学会第55回年次大会学術発表論文集』(Webpage)	豊田祐輔
Disaster Activities to Approach Non-Participants in Disaster Trainings and Promote Cooperation among Local Actors	単著	2018年11月	“Proceedings of the 8th ICBR: International Conference on Building Resilience (Risk and Resilience in Practice: Vulnerabilities, Displaced People, Local Communities and Heritages)” p. 214, University Institute of Lisbon, in Lisbon: Portugal	Toyoda Yusuke

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)	
近年の防災対策と歴史都市の防災	単独	大阪府北部コミュニティカレッジ 『大阪府シルバーアドバイザー養成講座 地域福祉を学ぶ科 (1年制) ~そして生きがい再発見~』	2018年2月14日～ 2018年2月14日	
立命館大学政策科学部におけるPBL:タイ・プロジェクト (体験・実践型学習におけるフィールドを通じた効果と運営上の課題セッション内)	単独	『2017年度 第23回FDフォーラム報告集 FDのこれまでと、これから～多様な角度からFDについて考える～』 pp. 170-174、京都産業大学、京都府、2018年3月3-4日	2018年3月3日～ 2018年3月4日	
防災ゲーム～防災について楽しく学ぼう～ (大阪府土木事務所共同)	共同	いばらき×立命館 DAY2018 (立命館大学主催)	2018年5月20日～ 2018年5月20日	
大阪いばらきキャンパスでの協働キャンパス作り	単独	立命館大学大学院政策科学研究科環境開発リサーチプロジェクト『体験できる政策科学入門～あなたの声を、まちの決め事に～ (いばらき×立命館 DAY2018内)』、立命館大学大阪いばらきキャンパス、茨木市、大阪府	2018年5月20日～ 2018年5月20日	
災害に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～	単独	『平成30年度 せつつ生涯学習大学』 摂津市立コミュニティプラザ、摂津市	2018年10月19日～ 2018年10月19日	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
アジアと防災の釣りゲーム	共同	AsiaWeek 2018（立命館大学主催）	2018年10月21日～ 2018年10月21日
（インタビュー）それゆけ！まちづくり探検隊Ⅱ	共同	豊中市『とよなか まちづくり手帖』 第5号、pp.1-2	2018年10月～ 2018年10月
茨木市平成29年度施策評価に係る外部評価	単独		2018年10月～ 2018年11月
防災釣りゲーム	単独	平成30年度東山田地区連合自治会 防災訓練（東山田地区連合自治会主 催；参加者：地区内住民）吹田市立 東山田小学校、大阪	2018年11月4日～ 2018年11月4日
大阪府の地震災害とマンションでの災害対策	単独	『ルネ・防災フェスタ』ルネ・グラン ディール、茨木市	2018年11月11日～ 2018年11月11日
防災ゲーム	共同	ルネ・防災フェスタ（ルネ・グラン ディール自治会主催；参加者：居住者） ルネ・グランディール、茨木市、大阪	2018年11月11日～ 2018年11月11日
Building National Resilience and Digital Technology in Japan	単独	“Training for BAPPENAS on Strengthening Capacity of Institutional National Development Planning for Facing Digital Economy Development” held by Research and Development Institute of Regional Information of Ritsumeikan University, participated by the National Development Planning Agency of Indonesia (BAPPENAS), Osaka Ibaraki Campus of Ritsumeikan University, Ibaraki City	2018年11月12日～ 2018年11月12日
防災まちづくりのすすめ～大阪府北部地震をふまえ、 次の震災に備える～	単独	『豊中市第26回まちづくりセミ ナー』 豊中市立文化芸術センター、豊中市	2018年11月29日～ 2018年11月29日
防災ゲーム	単独	平成30年度潮江東地区連合防災会 フェスタ（主催：潮江東地区連合防 災会；参加者：一般市民）高知市立 潮江東小学校、高知	2018年12月2日～ 2018年12月2日
そのとき、どうしたらいいの？「情報が入らないと き」	単独	潮江東地区連合防災会『平成30年 度潮江東地区連合防災会フェスタ』 高知市立潮江東小学校、高知市	2018年12月2日～ 2018年12月2日

## 研究業績書

対象期間	2018年4月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	花岡 和聖

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
社会調査の回収率低下とその地域差(埴淵知哉・村中亮夫編『地域と統計〈調査困難時代〉のインターネット調査』)	共著	2018年12月	ナカニシヤ出版	埴淵知哉・中谷友樹・村中亮夫・花岡和聖	2-28
小地域でみる国勢調査「不詳」の分布(埴淵知哉・村中亮夫編『地域と統計〈調査困難時代〉のインターネット調査』)	共著	2018年12月	ナカニシヤ出版	埴淵知哉・中谷友樹・村中亮夫・花岡和聖	47-66
増減(石川義孝編『地図でみる日本の外国人 改訂版』)	分担執筆	2019年1月	ナカニシヤ出版	花岡和聖	6-7

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Analysis of climatic factors leading to future summer heatstroke risk changes in Tokyo and Sendai based on dynamical downscaling of pseudo global warming data using WRF	共著	2018年	Journal of Wind Engineering and Industrial Aerodynamics(183巻)	Miguel Yamamoto, Masataka Kasai, Tsubasa Okaze, Kazumasa Hanaoka, Akashi Mochida	187-197

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	平尾 和洋

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
オートマチック・ドローイングを用いたデザイン発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察	共著	2018年5月	日本建築学会計画系論文集(83巻747号)	遠藤直久, 藤関利光, 平尾和洋	869-876
山梨県早川流域における兜造り民家の残存および防火意匠の現状調査	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集(vol.12巻)	遠藤直久, 小林和敬, 平尾和洋	153-160
福島県西会津町奥川流域における中門造民家の残存状況及び防火性能に関する現状調査	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集(Vol.12巻)	平尾和洋, 小池潤	145-152
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集(Vol.12巻)	平尾和洋, 石川一平	161-168
ルイス・カーンのキーワード連関に基づいた発想・設計支援ツールの改良と実務設計者の設計プロセスに関する考察	共著	2018年10月	日本建築学会技術報告集(第24巻第58号)	遠藤直久, 前原竹二, 石川一平, 平尾和洋	1201-1206

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
山梨県内の兜造り民家の諸特性分析その2-小屋組・屋根型の類型と分析-	共著	2018年6月	日本建築学会北海道支部研究報告集No.91	西村祐香, 小林和敬, 遠藤直久, 平尾和洋
山梨県内の兜造り民家の諸特性分析その1-間取りの類型と地方間の差異の分析-	共著	2018年6月	日本建築学会北海道支部研究報告集No.91	平尾和洋, 小林和敬, 遠藤直久
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案	共著	2018年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第58号	小玉寧人, 石川一平, 平尾和洋
福島県会津地域及び新潟県下越・中越地域の中門造民家に関する諸特性分析 その2-規模の定量分析と福島県西会津町における中門造民家の分析-	共著	2018年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第58号	小池潤, 平尾和洋
福島県会津地域及び新潟県下越・中越地域の中門造民家に関する諸特性分析 その1-中門・主屋の類型による分析-	共著	2018年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第58号	奥浩, 小池潤, 平尾和洋
山梨県内の兜造り民家の諸特性分析 その2-小屋組・屋根型の類型と分析-	共著	2018年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第58号	西村祐香, 小林和敬, 遠藤直久, 平尾和洋
福島県会津地域及び新潟県下越・中越地域の中門造民家に関する諸特性分析その2-規模の定量分析と福島県西会津町における中門造民家の分析-	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	平尾和洋, 小池潤



研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
福島県会津地域及び新潟県下越・中越地域の中門造民家に関する諸特性分析その1－中門・主屋の類型による分析－	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	小林稜治, 小池潤, 平尾和洋
山梨県内の兜造り民家の諸特性分析その2－小屋組・屋根型の類型と分析－	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	坂下太一, 遠藤直久, 小林和敬, 平尾和洋
山梨県内の兜造り民家の諸特性分析その1－間取りの類型と地方間の差異の分析－	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	斎藤翔太, 小林和敬, 遠藤直久, 平尾和洋
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案その2	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	内貴美侑, 石川一平, 平尾和洋
京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案その1	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	田中勇氣, 石川一平, 平尾和洋

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	深川 良一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
無線センサネットワークを利用した斜面内の負の間隙水圧の長期多点計測システム	共著	2018年5月	土木学会論文集、Vol.74, No.2	酒匂一成, 横田裕介, 里見知昭, 檀上徹, 深川良一	pp.144-163
Estimation of initial void ratio of consolidation clay based on one-dimensional consolidation theory	共著	掲載決定	International Journal of GEOMATE, Vol.14	Yuko Ishida, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chaemchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon, Masamitsu Fujimoto, Ryoichi Fukagawa	pp.51-56
Structural simulation on an OPEN-WING-TYPE Ground Ancho	共著	掲載決定	International Journal of GEOMATE, Vol.14	Kota Kono, Akihisa Nakahashi, Dong Daicho, Nobuo Fukushima, Ryoichi Fukagawa	pp.89-94
liquefaction simulation for the Osaka gulf coast using the LIQCA program	共著	掲載決定	International Journal of GEOMATE, Vol.14	Tetsuya Okano, Keita Sugito, Ryoichi Fukagawa	pp.1-6
Liquefaction simulation and related behavior of underground structure on Osaka gulf coast	共著	掲載決定	International Journal of GEOMATE, Vol.14	Keita Sugito, Tetsuya Okano, Ryoichi Fukagawa	pp.10-15
地下水排除工前後の地下水位変動特性の分析－世界遺産熊野参詣道「横垣峠」地すべりの地下水位観測例－	共著	2018年9月	日本地すべり学会誌、第55巻、第4号	石田優子, 木林幹, 古根川竜夫, 深川良一	pp.18-23
横垣峠地すべりににおける地下水位の変動特性	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018 論文集	石田優子, 深川良一, 古根川竜夫, 木林幹, 後誠介	6頁
超音波導波管を用いた透水性の空間分布と水分状態の把握	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018 論文集	稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一	6頁
室内降雨実験に基づくパイプ流周辺における地下水位変動に関する考察	共著	2018年11月	Kansai Geo Symposium 2018 論文集	伊良知慎太郎, 平岡伸隆, 稲垣大基, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一	6頁
液状化がトンネル浮き上がり現象に及ぼす影響に関する数値シミュレーション	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018 論文集	杉藤溪太, 岡野哲也, 深川良一	6頁
液状化解析プログラム LIQCA を用いた大阪湾岸盛土地盤における列車荷重による液状化被害の検証	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018 論文集	岡野哲也, 杉藤溪太, 深川良一	6頁
拡張翼型アンカーの実用化にむけた基礎的研究	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018 論文集	河野恒太, 中橋明久, 福島信夫, 藤本将光, 小林泰三, 深川良一	6頁
地震後に発生する亀裂を模した盛土斜面における降雨浸透特性に関する研究	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018 論文集	藤本将光, 野中慎介, 平岡伸隆, 深川良一	6頁

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Calculation on dispersal pollutants in air environment of Samsung Group's mobile phone manufacturing factory complex in Vietnam	共著	2018年9月	Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S1-12	Cuong T. Nguyen, Manh V. Dinh, Ba T. Dang and R. Fukagawa	8頁
Investigation of dynamic deformation of cylindrical specimen based on 3d SPH analysis and experiment	共著	2018年9月	Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-2	T. Okano, Y. Sumi, T. Matsuo and R. Fukagawa	8頁
Numerical simulation on the influence of liquefaction on underground structure	共著	2018年9月	Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-3	K. Sugito, T. Okano and R. Fukagawa	8頁
Fundamental study on design criterion for open-wing-type ground anchor	共著	2018年9月	Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-4	K.Kono, A. Nakahashi and R. Fukagawa	7頁
Effects of floods on the Wat Krasai Stupa in Ayutthaya, Thailand	共著	2018年9月	Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-5	Y. Ishida, A. Oya, C. Denpaiboon, W. Suanpaga, C.Trakulphudphong and R. Fukagawa	8頁

研究発表等					
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名	
現地発生材を利用したサイゴン川河岸に対する地盤改良工法の適用	共著	2018年6月	平成30年度土木学会関西支部年次学術講演会	名久井大輝、大矢綾香、山戸貴嗣、深川良一	
熊野参詣道横垣峠の崩壊・非崩壊斜面における降水量と風向の傾向	共著	2018年7月	第53回地盤工学研究発表会	石田優子、綾地諒、深川良一、古根川竜夫、酒井俊典、岡島賢治	
超音波水分動態観測手法を用いた透水試験法の実証試験	共著	2018年7月	第53回地盤工学研究発表会	稲垣大基、平岡伸隆、伊良知慎太郎、藤本将光、田中克彦、深川良一	
斜面土層内のパイプ流が地下水位変動に及ぼす影響	共著	2018年7月	第53回地盤工学研究発表会	伊良知慎太郎、平岡伸隆、稲垣大基、藤本将光、田中克彦、深川良一	
熊野参詣道横垣峠地すべりにおける降雨－地下水位の応答関係－地すべり安定性評価への土壌雨量指数の適用性検討－	共著	2018年5月	平成30年砂防学会研究発表会、(公社)砂防学会	石田優子、古根川竜夫、後誠介、深川良一	
超音波現地透水試験法を用いた透水性の空間分布の把握	共著	2018年5月	平成30年砂防学会研究発表会、(公社)砂防学会	稲垣大基、平岡伸隆、伊良知慎太郎、藤本将光、田中克彦、深川良一	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
斜面内のパイプ流周辺における地下水位変動に関する実験的考察	共著	2018年5月	平成30年砂防学会研究発表会, (公社)砂防学会	伊良知慎太郎、平岡伸隆、稲垣大基、藤本将光、田中克彦、深川良一
警報解除基準に着目した組合せ実効雨量の研究－世界遺産熊野参詣道横垣峠地すべりの地下水位観測事例－	共著	2018年8月	第57回日本地すべり学会研究発表会概要集	石田優子、古根川竜夫、松尾勉、深川良一
液状化が開削トンネルに与える影響に関する解析的検証	共著	2018年10月	(一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部 第51回(平成30年度)研究発表会 論集	杉藤溪太、岡野哲也、深川良一
スクリーオーガによる地盤掘削時の施工情報を利用した土の力学特性把握に関する検討	共著	2018年10月	(一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部 第51回(平成30年度)研究発表会 論集	栗原健伸、深川良一、小林泰三、宇治原雅之、若林幸子、金森洋文

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
弾性体を利用した孔内载荷試験装置					特許第2571419号	

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	福水 洋平

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
多重構造とした畳み込みニューラルネットワークによる劣化したナンバープレート画像の平仮名認識	共著	2018年5月	信号処理学会誌(22巻3号)	辻広生, 福水洋平, 道関隆国, 山内寛紀	121-134
Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor	共著	2018年5月	Proceedings of 10th International Conference on Digital Image Processing	M.Suhail, Y.Fukumizu, T.Izumi and H.Yamauchi	
Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor	共著	2018年12月	Journal of Image and Graphics (6巻2号)	M.Suhail, Y.Fukumizu, T.Izumi and H.Yamauchi	
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019年1月	Proceedings of 4th International Conference of Multimedia and Image Processing	S.Hamdan, Y.Fukumizu, T.Izumi, and H.Yamauchi	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
劣化したナンバープレート文字画像に対する超解像のための深層学習によるサブピクセル位置推定	共著	2018年3月	電子情報通信学会 2018 総合大会	辻広生, 福水洋平, 道関隆国, 山内寛紀
Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor	共著	2018年5月	The 10th International Conference on Digital Image Processing	M.Suhail, Y.Fukumizu, T.Izumi and H. Yamauchi
Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area	共著	2019年1月	The 4th International Conference on Multimedia and Image Processing	S.Hamdan, Y.Fukumizu, T.Izumi, H.Yamauchi

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日		
所属	職名	氏名	
理工学部	准教授	福山 智子	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
電気化学的手法を活用した実効的維持管理手法の確立に関する研究委員会報告書	共編著	2018年9月	日本コンクリート工学会	電気化学的手法を活用した実効的維持管理手法の確立に関する研究委員会	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
THE FROST EVALUATION OF DRIED CONCRETE USING RECYCLED COARSE AGGREGATE BY THE ACCELERATED FREEZE-THAW TEST AND THE CRITICAL DEGREE OF SATURATION TEST	共著	2018年7月	コンクリート工学年次論文集	馬徳群, 都築敦大, 福山智子, 千歩修	
WATER ABSORPTION PROPERTIES OF CONCRETE USING SURFACE PENETRANTS INFLUENCED BY VARIOUS FREEZING AND THAWING CONDITIONS	共著	2018年7月	コンクリート工学年次論文集	全青青, 千歩修, 福山智子, 馬徳群	
コンクリートの各種性状が交流インピーダンスの周波数応答特性に及ぼす影響	共著	2018年7月	コンクリート工学年次論文集	岡本祐輝, 福山智子, 千歩修	
プレストレストコンクリートを構成する材料の電気化学的判別に関する基礎的検討	共著	2018年7月	コンクリート工学年次論文集	福山智子, 岡本祐輝, 千歩修	
染色浸透探傷試験によるコンクリートの凍害深さの簡易的な評価方法	共著	2018年10月	コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集	米谷怜, 都築敦大, 千歩修, 福山智子	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Nondestructive Electrochemical Testing Method for Prestressed Concrete Structures	共著	2018年3月	ICCSEE 2018 : 20th International Conference on Civil, Structural and Environmental Engineering	Tomoko Fukuyama and Osamu Senbu
A frost resistance evaluation method considering water absorption by freeze-thaw	共著	2018年11月	The 8th International Conference of Asian Concrete Federation (ACF2018) "SUSTAINABILITY AND INNOVATION IN CONCRETE MATERIALS AND STRUCTURES"	D. Ma, A. Tsudzuki, T. Fukuyama, and O. Senbu
Evaluation of Rebar Corrosion without Oxide film in RC by Acoustic Emission and Half-Cell Potential Method	共著	2018年11月	The 8th International Conference of Asian Concrete Federation (ACF2018) "SUSTAINABILITY AND INNOVATION IN CONCRETE MATERIALS AND STRUCTURES"	Y.Yasuda, M.Yokota, T. Fukuyama, Y.Kawasaki

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
World Academy of Science, Engineering, and Technology	BEST PAPER AWARD（筆頭）	Nondestructive Electrochemical Testing Method for Prestressed Concrete Structures	2018年3月

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	助教	藤井 健史

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
ランダム配置シミュレーションによる樹木配置数と緑視率の数理的關係に関する考察	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演会	藤井健史・山田悟史

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	藤本 将光

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
地震後に発生する亀裂を模した盛土斜面における降雨浸透特性に関する研究	共著	2018年	Kansai Geo-Symposium 2018 (6巻)	1. 藤本将光, 野中慎介, 平岡伸隆, 深川良一	239-244
地下水環境に配慮した構造物の基礎補強対策工に関する研究	共著	2018年	Kansai Geo-Symposium 2018 (6巻)	原田紹臣, 藤本将光, 小西成治, 疋田信晴	169-174
京都府綾部市安国寺裏斜面を対象とした動態モニタリング(その1)	共著	2018年	Kansai Geo-Symposium 2018 (6巻)	矢野晴彦, 小田和広, 小泉圭吾, 藤本将光, 河島弘輔	200-205
地盤環境に配慮した歴史的建造物の基礎補強対策工に関する提案	共著	2018年	歴史都市防災論文集(12巻)	原田紹臣, 藤本将光, 里深好文, 小西成治, 疋田信晴	201-208
室内降雨実験に基づくパイプ流周辺における地下水位変動に関する考察	共著	2018年	Kansai Geo-Symposium 2018 (6巻)	伊良知慎太郎, 平岡伸隆, 稲垣大基, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一	249-252
拡張翼型アンカーの実用化にむけた基礎的研究	共著	2018年	Kansai Geo-Symposium 2018 (6巻)	河野恒太, 中橋明久, 福島信夫, 藤本将光, 小林泰三, 深川良一	226-230
超音波導波管を用いた透水性の空間分布と水分状態の把握	共著	2018年	Kansai Geo-Symposium 2018 (6巻)	稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一	175-178
Estimation of initial void ratio of consolidated clay based one-dimensional consolidation theory	共著	2018年	International Journal of GEOMATE (14巻46号)	Yuko Ishida, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemnchai Trakulphudphong, Chaweevan Denpaiboon, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	51-56

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
急傾斜地における崩土の流動現象に関する実験	共著	2018年5月	平成30年度砂防学会研究発表会	山本和輝, 藤本将光, 原田紹臣, 青木康真, 里深好文
超音波現地透水試験法を用いた透水性の空間分布の把握	共著	2018年5月	平成30年度砂防学会研究発表会	稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一
斜面内のパイプ流周辺における地下水位変動に関する実験的考察	共著	2018年5月	平成30年度砂防学会研究発表会	伊良知慎太郎, 平岡伸隆, 稲垣大基, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一
浅野川伝統的建造物群保存地区の洪水の危険性	共著	2018年5月	平成30年度砂防学会研究発表会	Qin Xin, 藤本将光, 里深好文
Flood Risk in Traditional Building Preservation Districts on the Asano River	共著	2018年10月	INTERPRAVENT 2018	Qin Xin, Masamitsu FUJIMOTO, Yoshifumi SATOFUKA



知的財産権						
名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同		2015-102216			
透水試験装置および透水試験方法	本学共同		2013-193946			

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	宗本 晋作

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
韓国ドンレ駅保存に向けての調査報告書	共同	釜山市	2017年4月～ 2018年3月
城崎温泉 TOKIWA GARDEN 設計監修	単独	神戸新聞他	2017年4月～ 2018年1月
2018 BUGAIK International Architecture Exhibition	単独	Jinju, Gyeongsang National University	2018年11月23日～ 11月27日
日中韓招待建築家展	単独	釜山芸術会館	2018年10月19日～ 10月22日
VIETNAM ENERGY EFFICIENCY BUILDING WEEK 2018	共同	Goethe Institut Hall Hanoi	2018年8月25日～ 9月1日
商業施設と商店街の空間構成と店舗の見方の関係に関する研究	共同 (上坂僚)	日本建築学会 近畿支部研究発表会	2018年6月24日

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	持田 泰秀

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
免震レトロフィットにおける仮受工法の工程歩掛に関する研究	共著	2018年7月	日本建築学会第33回建築生産シンポジウム	伊原大貴, 持田泰秀	77-82
熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維ストランドロッドの開発 - 接合部と撚り性能に関する研究 -	共著	2018年11月	土木学会第7回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム	櫻井祥人, 持田泰秀	80-87
STUDY ON STRENGTH ESTIMATION OF SOIL CEMENT USED IN THE EMBEDDED PILE METHOD BY ELECTRICAL RESISTIVITY MEASUREMENT.		2018年	8th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment (20-22巻)		

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
電気比抵抗を用いた地盤改良体の施工管理の可能性に関する研究(その1) - 早期のひび割れ・孔壁崩壊の影響について -	共著	2018年7月	第53回地盤工学研究発表会	羽原琢朗, 持田泰秀, 藤井衛, 豊島広, 松本洋, 角田和明
電気比抵抗を用いた地盤改良体の施工管理の可能性に関する研究(その2) - 重曹を混合した低強度セメントの影響について -	共著	2018年7月	第53回地盤工学研究発表会	持田泰秀, 羽原琢朗, 藤井衛, 豊島広, 松本洋, 角田和明
電気比抵抗を利用した埋込み杭の根固め部の形状・寸法評価に関する基礎的実験	共著	2018年7月	第53回地盤工学研究発表会	児玉貴之, 小寺満, 千種信之, 持田泰秀, 藤井衛
電気比抵抗を用いた地盤改良体の施工管理の可能性に関する研究(その1) - 早期のひび割れ・孔壁崩壊の影響について -	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	羽原琢朗, 持田泰秀, 藤井衛
地震直前の耐震診断と被災度調査結果の比較に関する研究 - K競技場の事例を用いて -	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	北川貴大, 持田泰秀, 難波清孝
免震レトロフィット工法における仮受工法の歩掛に関する研究	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	伊原大貴, 持田泰秀
電気比抵抗を用いた地盤改良体の施工管理の可能性に関する研究(その2) - 重曹を混合した風化セメントの影響について -	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	インドラハルデイ, 持田泰秀, 藤井衛
電気比抵抗を利用した埋込み杭根固め球根の寸法調査に関する基礎的実験	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	児玉貴之, 藤井衛, 持田泰秀, 千種信之, 小寺満
CLT工法の免震建物の耐震性能に関する研究 - 積層ゴムと転がり支承の比較 -	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	深井亮汰, 持田泰秀
過去の地震における建設型仮設住宅と借上型仮設住宅の供給に関する研究 - 借上型仮設住宅の活用の変遷について -	共著	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	飯村知寛, 持田泰秀

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	矢野 桂司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
船鉾一財団法人設立五十周年記念誌「」、2018	共編著	2018年1月	公益財団法人祇園祭船鉾保存会	佐藤弘隆・矢野桂司編著	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
ジオデモグラフィクスによる社会地区類型を活用した窃盗犯の発生要因に関する小地域分析	共著	2018年1月	E-journal GEO（13巻1号）	上杉昌也・樋野公宏・矢野桂司	
すまいの耐震化の普及・啓発におけるジオデモグラフィクスの活用：京都市を事例として	共著	2018年3月	京都歴史災害研究（39-50号）	上杉昌也・矢野桂司	39-50
日本の古地図のポータルサイト構築に関する一考察	単著	2018年3月	立命館文学（656巻）	矢野桂司	735-721
Uncovering inequality through multifractality of land prices: 1912 and contemporary Kyoto.	共著	2018年4月	PLoS ONE（13巻4号）	Salat H, Murcio R, Yano K, Arcaute E	
ジオデモグラフィクスからみた教育水準の学校間格差の評価：大阪市を事例として	共著	2018年5月	人文地理（70巻2号）	上杉昌也・矢野桂司	
学会展望「数理・計量・地理情報」	単著	2018年11月	人文地理（70巻3号）	矢野桂司	
英国の地図事情	単著	2018年12月	地理（63巻2018号）	矢野桂司	18-25

研究発表等					
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名	
日本の古地図ポータルサイト	共著	2018年3月	GIS Day in 関西 2018 & 国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏	
趣旨説明：日本の古地図ポータルサイト	共著	2018年3月	2017年国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏	
カリフォルニア大学バークリー校所蔵古地図コレクションの来歴と今後の展開—渡米からデジタルアーカイブまで—	共著	2018年3月	2017年国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏	
「バーチャル京都」の構築とその利活用	単著	2018年3月	文化庁・立命館大学 共同研究キックオフ・シンポジウム「新たな文化芸術創造活動の創出」	矢野桂司	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Japanese Map Warper for Japanese Old Maps: an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities	共著	2018年8月	2018 IGU Regional Conference Quebec	Keiji Yano and Ryo Kamata
地理情報システム (GIS) とオープンデータ教育や自治体での活用	単著	2018年8月	GIS day in 伊勢 2018	矢野桂司
WebGIS-based Application for Compering Rakuchū rakugai-zu Folding Screens	共著	2018年8月	The 1st KDD Workshop on Data Science for Digital Art History: tackling big data Challenges, Algorithms, and Systems	Keiji Yano, Masaru Tsuchida, Satoshi Imamura and Masanori Yamaji
子育て世帯の住宅選択行動に関する研究—市営住宅応募者の応募者特性—子育て世帯に対する住宅政策に関する調査研究 (その1)	共著	2018年9月	2018年度日本建築学会大会 (東北) 学術講演会・建築デザイン発表会	中西真弓、生川慶一郎、高田光雄、伊丹絵美子、矢野桂司、趙賢株、式王美子、河野学
子育て世帯子育て世帯向け住宅において配慮すべき住宅部位別の設計内容—京都市の子育て世帯向けリノベーション住宅を例とし—子育て世帯に対する住宅政策関連調査研究 (その2)	共著	2018年9月	2018年度日本建築学会大会 (東北) 学術講演会・建築デザイン発表会	河野学、趙賢株、高田光雄、中西真弓、矢野桂司、伊丹絵美子、生川慶一郎、式王美子
オープンデータの地理空間情報を活用した社会・学校 GIS 教育の展開	単著	2018年10月	関西 G 空間フォーラム 2018	矢野桂司
協働によるジオデザインのフレームワーク	単著	2018年10月	公開シンポジウム「グローバル時代のデータ利用と可視化」	矢野桂司
中古不動産市場における空間的波及効果	共著	2018年10月	第26回学術研究発表大会	上杉昌也・上村要司・矢野桂司
京都地籍図データベースを用いた明治末期の土地所有者構造分析	共著	2018年10月	第26回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司・武田幸司
日本版 Map Warper を用いた旧版地形図の公開	共著	2018年10月	第26回学術研究発表大会	今村聡・鎌田遼・矢野桂司・磯田弦・中谷友樹
日本版 Map Warper を用いた旧版地形図の公開	共著	2018年10月	第26回学術研究発表大会	今村聡・鎌田遼・矢野桂司・磯田弦・中谷友樹
京都地籍図データベースを用いた明治末期の土地所有者構造分析	共著	2018年10月	第26回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司・武田幸司

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	講師	山田 悟史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
松山城における非合理的避難の割合と被害の推移に関する研究－マルチエージェントを用いた避難シミュレーション－	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集、Vol.12（論文部門）、pp. 107-112, 2018.7, 歴史都市防災研究所	中島昌暉, 山田悟史	6
超高層住宅の集住体における住戸の立地及び居住階の環境認知による実態圏域の形成について－	共著	2018年9月	日本建築学会計画系論文集, 第83巻, 第751号, pp. 1737-1746, 2018.9, 日本建築学会	宋士淳, 大内宏友, 木村敏浩, 山田悟史	10
没入型仮想空間における空間知覚の研究－パーソナルスペースの検討を想定した距離の知覚と心理評価を対象として－	共著	2018年10月	日本建築学会 技術報告論文集, 第58号, pp.1303-1307, 2018.10, 日本建築学会	山田悟史, 北本英里子, 神長伸之, 及川清昭	5

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Deep Learning を用いた街並み画像の都市名と訪問意欲の推定	単著	2018年7月	日本建築学会近畿支部研究報告会	山田悟史
HMDを用いた建築・都市の空間設計に関する研究	共著	2018年9月	第23回日本バーチャルリアリティ学会大会	北本英里子, 山田悟史
ランダム配置シミュレーションによる樹木配置数と緑視率の数理的関係に関する考察	共著	2018年9月	日本建築学会大会（東北）学術講演会	藤井健史, 山田悟史
多次元グラフ理論による建築都市の定量把握	共著	2018年9月	日本建築学会大会（東北）学術講演梗概	北本英里子, 山田悟史, 及川清昭
マルチエージェントを用いた非合理的避難の割合と被害の推移に関する研究－松山城における避難完了時間及び危険密度範囲を最小化する避難計画－	共著	2018年9月	日本建築学会大会（東北）学術講演会	中島昌暉, 山田悟史
A Quantitative Grasp of Sloping Street Network Using the Multidimensional Graph Theory	共著	2018年10月	ISAIA 2018: The 12th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia	北本英里子, 山田悟史, 及川清昭
一次救命を実施する非医療従事者の存在確率をふまえたAEDの適正配置	共著	2018年12月	第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム	中島昌暉・山田悟史・岩田伸一郎・江川香奈
傾斜地に立地する都市の街路ネットワーク解析の提案	共著	2018年12月	第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム	北本英里子・山田悟史・及川清昭
Deep Learningを用いた画像生成AIの建築都市デザイン分野への適用可能性	共著	2018年12月	第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム	大野耕太郎・山田悟史

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	吉富 信太

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
多層構造物における地震時応答低減のためのTMD床の最適配置法	共著	2018.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	津留崎聖斗, 吉富信太
多層多スパン立体せん断モデルの構面別構造特性の推定法	共著	2018.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	新谷謙一郎, 吉富信太, 竹脇出
屋根型円筒ラチスシェルにおける形状パラメータ変化が構造特性と地震時応答に及ぼす影響に関する基礎的研究	共著	2018.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	福島研人, 吉富信太
建築構造システムのデザイン性向上のための評価指標の構築に関する研究	共著	2018.6	日本建築学会近畿支部研究発表会	嶋田陽大, 吉富信太
床の面内剛性を考慮した立体せん断モデルの構面別システム同定法	共著	2018.9	日本建築学会大会(東北)	新谷謙一郎, 吉富信太, 竹脇出
屋根型円筒ラチスシェルにおける形状パラメータ変化が構造特性と地震時応答に及ぼす影響に関する基礎的研究	共著	2018.9	日本建築学会大会(東北)	福島研人, 吉富信太
建築構造システムのデザイン性向上のための評価指標の構築に関する研究	共著	2018.9	日本建築学会大会(東北)	嶋田陽大, 吉富信太

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
総合科学技術研究機構	専門研究員	石田 優子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題——「第11回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告——	共著	2018年3月	京都歴史災害研究(19号)	谷端郷, 崔明姫, 石田優子	51-58
ESTIMATION OF INITIAL VOID RATIO OF CONSOLIDATED CLAY BASED ON ONE-DIMENSIONAL CONSOLIDATION THEORY	共著	2018年6月	International Journal of GEOMATE (14巻 Issue 46号)	Yuko Ishida, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemnchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	51-56
大阪府の「式内社」の立地傾向と災害危険性から見た古代の神観念	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集(12巻)	榎原拓大, 青柳憲昌, 石田優子	83-90
地下水排除工前後の地下水変動特性の分析—世界遺産熊野参詣道「横垣峠」地すべりの地下水位観測例—	共著	2018年7月	地すべり学会誌(55巻4号)	石田優子, 木林幹, 古根川竜夫, 深川良一	18-23
EFFECTS OF FLOODS ON THE WAT KRASAI STUPA IN AYUTTHAYA, THAILAND	共著	2018年9月	Proceedings of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and Environmental Issues	Y.Ishida, A.Oya, W. Suanpaga, C.Trakulphudphong, R.Fukagawa	S2-5
Influence of floods on the inclination of stupas in Ayutthaya Thailand	共著	2018年11月	Proceeding of 8th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemnchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon, Ryoichi Fukagawa	926-931
横垣峠地すべりにおける地下水位の変動特性	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018 - 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	石田優子, 深川良一, 古根川竜夫, 木林幹, 後誠介	185-190
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の地盤災害と保全に向けた取り組み	共著	2018年11月 寄稿	(公社)地盤工学会関西支部60周年記念誌	石田優子・矢野晴彦	
マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題——「第12回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告——	共著	2019年3月 (予定)	京都歴史災害研究(20号)	谷端郷, 酒井宏平, 石田優子	



研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
熊野参詣道横垣峠地すべりにおける降雨—地下水位の応答関係—地すべり安定性評価への土壌雨量指数の適用性検討—	共著	2018年5月	平成30年度(公社)砂防学会研究発表会「鳥取大会」	石田優子、古根川竜夫、後誠介、深川良一
熊野参詣道横垣峠の崩壊・非崩壊斜面における降水量と風向の傾向	共著	2018年7月	第53回地盤工学研究発表会	石田優子、深川良一、綾地諒、古根川竜夫、酒井俊典、岡島賢治
熊野参詣道横垣峠における災害復旧と遺産的価値の検討	共著	2018年7月	第53回地盤工学研究発表会	古根川竜夫、石田優子、酒井俊典、岡島賢治、後誠介、宮下則男
台風進路が三重県の降水特性に及ぼす影響について	共著	2018年8月	第57回日本地すべり学会研究発表会	酒井俊典、岡島賢治、西井和晃、上村恭平、中谷仁、古根川竜夫、由井恒彦、阪口和之、石川昌幹、片岡泰、長谷川謙二、後誠介、石田優子
警報解除基準に着目した組合せ実効雨量の研究—世界遺産熊野参詣道横垣峠地すべりの地下水位観測事例—	共著	2018年8月	第57回日本地すべり学会研究発表会	石田優子、古根川竜夫、松尾勉、深川良一
横垣峠地すべりにおける地下水位の変動特性	共著	2018年11月	Kansai Geo-Symposium 2018—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—	石田優子、深川良一、古根川竜夫、木林幹、後誠介
INFLUENCE OF FLOODS ON THE INCLINATION OF STUPAS IN AYUTTHAYA, THAILAND	共著	2018年11月	8th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko ISHIDA, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon and Ryoichi Fukagawa

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
自然災害に備えた文化財の保全技術に関する講習会での講演 「文化遺産サイトで発生した自然災害の事例報告」	共同	三重大学 環境・情報科学館	2018年12月7日
第12回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト：立命館大学国際平和ミュージアム主催夏休み子ども企画「「へいわ」ってなに？—今、私にできること—」第13回「災害から身をまもる編」、クイズで学ぶ防災を実施	共同	立命館大学国際平和ミュージアム、防災クイズの問題作成	2018年7月28日

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
(公社)地盤工学会関西支部	平成29年度社会貢献賞 (※研究グループでの受賞)	平成23年台風12号に伴う熊野那智大社裏山の斜面崩壊・土石流に関する調査研究	2018年4月

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
OIC 総合研究機構	専門研究員	酒井 宏平

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
A Study on Agent Modeling of Tourist Evacuation Behaviors in an Earthquake: A Case Study of an Evacuation Simulation of Himeji Castle	共著	2018年12月	Innovative Approaches in Agent-Based Modelling and Business Intelligence (Agent-Based Social Systems)	編集: Setsuya Kurahashi and Hiroshi Takahashi 著者: Makoto Sonohara, Kohei Sakai, Masakazu Takahashi and Toshiyuki Kaneda	189-204

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
観光客の防災意識に影響する要因に関する研究：世界遺産姫路城を事例に	共著	2018年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集（12号）	酒井宏平，豊田祐輔，鐘ヶ江秀彦	121-128

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
A Study on Participatory Evacuation Planning in Tourist Areas Using Agent Simulation	共著	2018年7月	The 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association	Kohei Sakai, Hiroari Shimizu, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
震災時における外国人観光客の避難行動モデリングに関する研究 - 清水寺界限を事例に -	共著	2018年10月	日本地域学会 第55回(2018年)年次大会	酒井宏平、鐘ヶ江秀彦
A Study on Change in the Tourists' Intention to Stay by Public Support at Himeji Castle for Mitigating Simultaneous Returning Home after Large Scale Earthquake	共著	2018年10月	7th International Conference on Sustainable Future for Human Security	Kohei Sakai, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
A Study on Effect of Education for Sustainable Development Using a Quantitative Text Analysis of Students' Questionnaire Responses: A Case of a short-term International PBL Workshop for Thai Undergraduate Students	共著	2018年10月	7th International Conference on Sustainable Future for Human Security	Kohei Sakai, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae

受賞学術賞		
授与機関名	受賞名	受賞年月（西暦可）
タイ王国内閣総理大臣プラユット・チャンオチャ	The Best Paper Award of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association (1st author from 4 authors)	2018年7月
日本地域学会	学位論文賞（博士論文賞）	2018年10月
International Conference on Sustainable Future for Human Security	The Best Presenter Award of Climate Change Topic, 7th International Conference on Sustainable Future for Human Security 2018. (1st author from 3 authors)	2018年10月

## 研究業績書

対象期間	2018年1月1日～2019年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	谷端 郷

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
津波地名や由来は継承されるのか？—山奈宗真著『岩手沿岸古地名考全』の追跡調査—	共著	2018年2月	地理科学 (72巻4号)	村中亮夫・谷端郷・塚本章宏・花岡和聖・磯田弦	223-246
マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題—「第11回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2018年3月	京都歴史災害研究第(19号)	谷端郷・崔明姫・石田優子	51-58
災害文化遺産の展示手法と防災教育への活用—禹王遺跡展の事例から—	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集(12号)	大邑潤三・片山正彦・谷端郷	267-274
被災後の町の復興を支える神輿渡御—宮城県南三陸町保呂羽神社の春祭り—	共著	2018年7月	歴史都市防災論文集(12号)	谷端郷・板谷(牛谷)直子・中谷友樹	193-200
京都・鴨川の禹王伝説	単著	2018年11月	地理 (63巻11号)	谷端郷	14-19
ストーリーマップを活用した防災教材の作成とその意義	共著	2018年11月	情報処理学会シンポジウムシリーズ(人文科学とコンピュータシンポジウム論文集)(2018巻1号)	谷端郷・中谷友樹	169-174
マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題—「第12回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2019年3月 (予定)	京都歴史災害研究第(20号)	谷端郷・酒井宏平・石田優子	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
津波の教訓を伝える地名の行方—『岩手沿岸古地名考』の追跡調査—	単独	2018年5月	歴史都市防災研究所2018年度第2回定例研究会	谷端郷
被災後の町の復興を支える神輿渡御—宮城県南三陸町保呂羽神社の春祭り—	共同	2018年7月	第12回歴史都市防災シンポジウム	谷端郷・板谷直子・中谷友樹
災害文化遺産の展示手法と防災教育への活用—禹王遺跡展の事例から—	共同	2018年7月	第12回歴史都市防災シンポジウム	大邑潤三・片山正彦・谷端郷
ストーリーマップを活用した防災教材の作成とその意義	共同	2018年12月	じんもんこん(人文科学とコンピュータシンポジウム)2018	谷端郷・中谷友樹

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
第14回 GIS コミュニティフォーラムへの出展	共同	東京ミッドタウン、ESRI ジャパン株式会社主催	2018年5月24・25日
宿場町枚方を考える会主催歴史講演会「明治18年の淀川洪水と北河内」	単独	枚方市市民会館	2018年7月22日
第12回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト：立命館大学国際平和ミュージアム主催夏休み子ども企画「「へいわ」ってなに？—今、私にできること—」第13回「災害から身をまもる編」、クイズで学ぶ防災を実施	共同	立命館大学国際平和ミュージアム、防災クイズの問題作成	2018年7月28日
第12回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト：小学生を対象としたマップ作製講習会の実施（東広島市立高美が丘小学校）	共同	東広島市立高美が丘小学校（安全安心マップ作製の講義、フィールドワーク指導）	2018年9月2-3日
門真市立歴史資料館・市立枚方宿鍵屋資料館・淀川資料館合同展示「北河内の交通史」関連講座「絵地図・古写真からみた明治18年淀川大洪水」	単独	市立枚方市鍵屋資料館	2018年10月29日